

# 大会原稿執筆見本

THE WRITING SAMPLE FOR THE CONFERENCE

電子太郎<sup>1</sup>                      情報二郎<sup>2</sup>                      Saburou Tushin<sup>3</sup>  
Tarou Denshi                      Jiro Jouhou

(社) 電子情報通信学会 集会事業部 A<sup>1</sup>  
Conference Department, The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers A  
(社) 電子情報通信学会 集会事業部 B<sup>2</sup>  
Conference Department, The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers B  
Stanford University, Department of Information Science<sup>3</sup>

## 1 まえがき

原稿用紙はA4判白紙に原稿執筆見本に示す体裁に従って内容の記載・図表の添付を行います。従来の専用原稿用紙は使用する必要はございません。

講演論文集は、著者の原稿をそのまま原版とし、B5判(約86%に縮尺)により出版致します。「原稿」が不相当であると印刷に支障を来します。この説明書をよくお読みになった上で原稿をお書き下さい

表1 文字数の目安

一般講演 (A)	シンポジウム講演 (B)
1枚 / 1件 44字×43行 = 1892字	2枚 / 1件 44字×43行 = 1892字 (1枚目) 44字×52行 = 2288字 (2枚目)

## 2 今回の相違点

### (1) Webによる講演申込

講演申込受付期間内に、本会ホームページの投稿のページに開設する「大会講演参加申込方法」から登録して下さい。

正しく登録が受け付けられますと、「受付番号」・「登録済内容にアクセスするためのパスワード」などが登録受理票で表示されますので、申込者で必ずプリントアウトして保管し、論文の提出する際に原稿の左上にホチキス止で添付して下さい。

また、登録完了時点で入力項目の確認のために「受付回答メール」が申込者に送付されます。(必ず、内容の確認を行って下さい。)

講演申込受付期間内は受付番号とパスワードにより登録データの修正・取消が可能です。これに伴い、従来の専用講演申込書は不要となります。

## 3 原稿作成要領

※ 従来との相違点：学会所定の原稿用紙はありません。

### (1) A4判白紙に、原稿執筆見本に示す体裁に従って内容の記載・図表の添付を行います。

注意:提出された原稿は本会の「著作権」に関する事項が適用されます。ご了解の上、原稿を作成下さい

### (2) 講演原稿( )は原寸で作成します。講演論文集にはB5判に縮小し、そのまま掲載されます。

### (3) 上下左右のマージンおよび講演番号スペースを確保します。マージンは上マージン30mm、左マージン18mm、カラム間マージン7mm、右マージン18mm、

下マージン27mmを目安としてレイアウトに留意して下さい。

(4) カラー写真は白黒になります。

(5) 使用言語 日本語または英語。

(6) 配置。

① 表題、著者名、勤務先は原稿執筆見本に従い、記入して下さい。

英文の場合は、表題のみ英文で記入して下さい。

② 本文は1段または2段に書いても差支えありません。

(7) 文字の大きさ。

表題、著者名、勤務先、本文の文字の大きさは、下記を大体の目安として下さい。  
表題 16ポイント = 5mm

著者名・勤務先・本文 10.5ポイント = 3mm

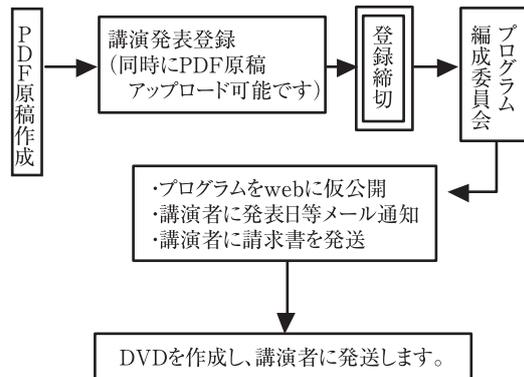
注意：原稿は86%縮小(B5判)されますので文字の大きさを厳守して下さい。

(8) 提出期限は大会ホームページを確認してください。

(9) 提出後の差し替えはできません。

(10) 原稿提出先

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内  
(社) 電子情報通信学会 集会事業部大会係  
TEL: 03-3433-6691, FAX: 03-3433-6659



大会講演申込流れ図

図1 大会講演申込流れ図